



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3143 URL https://owill.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	22,859	△12.0	445	△31.9	465	△32.7	304	△37.4
2020年3月期第3四半期	25,989	6.0	653	8.5	691	15.5	486	19.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 335百万円 (△27.7%) 2020年3月期第3四半期 464百万円 (2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	96.63	—
2020年3月期第3四半期	154.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	11,481	3,212	27.5	1,001.48
2020年3月期	9,497	3,018	31.2	941.57

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,154百万円 2020年3月期 2,965百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△11.3	450	△33.3	456	△37.1	300	△36.5	95.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日 (2021年2月8日) 公表いたしました「2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3 Q	3,150,000株	2020年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3 Q	304株	2020年3月期	304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3 Q	3,149,696株	2020年3月期3 Q	3,149,769株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により、企業業績や個人消費に深刻な影響が生じております。政府による経済対策や各国の経済活動再開により一部持ち直しの動きがあったものの、国内外で感染が再拡大し、再び経済活動の停滞する懸念があり、厳しい状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、新型コロナウイルス感染拡大により人や物の移動が減少し、消費活動が激変していることから、新たな生活様式に応じたマーケティングが求められ、withコロナ時代を見据えた事業展開を図るなど、経営環境は大きく変化しております。

このような状況下、当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。しかしながら、外出自粛による消費低下の影響を受け、主力カテゴリーである食品副原料、農産物加工品、乳及び乳製品の販売数量が前年に比べて減少いたしました。一方で、近年注力している環境ビジネス関連の大型シーリングファンの需要は引き続き高く、コロナ禍においても好調に推移いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,859,976千円（前年同期比12.0%減）となりました。対面での営業活動及び販売数量の減少により、営業経費や物流費等の販売管理費は抑えられたものの、売上総利益の減少分を補填することができなかったこと、加えて、子会社サンオーネストにおいて、外食向け等の受注が大幅に減少し65,026千円の営業損失となったことから、営業利益は445,033千円（前年同期比31.9%減）、経常利益は465,469千円（前年同期比32.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は304,363千円（前年同期比37.4%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、外出自粛や在宅勤務などにより小型ペットボトルの飲料需要が減少していることや7月の記録的な長雨や局地的な豪雨などの天候不順の影響を受けたことから厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、既存取引先へのサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。環境ビジネス関連の大型シーリングファンは、物流倉庫の換気効果があることや労働環境の改善が図れることから、コロナ禍においてもニーズが高く、前年に比べて大幅に伸長しております。一方、外出自粛による消費低迷や天候不順の影響を受け、飲料製品の販売数量は低調に推移しており、食品副原料や茶類などの農産物加工品や殺菌乳の販売数量が前年同期を下回ったことから、売上高は22,857,751千円（前年同期比12.0%減）となりました。

#### <製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、主な得意先である外食チェーン店の臨時休業や営業短縮により業務用バルクアイスの受注減少に加えて、大手レジャーランド施設の営業自粛や客数制限によりPB商品の受注が前期に比べ大幅に減少いたしました。以上の結果、製造販売事業の売上高は369,417千円（前年同期比33.2%減）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,763,177千円増加し、9,963,169千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ220,592千円増加し、1,517,842千円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,983,769千円増加し、11,481,011千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,640,882千円増加し、6,636,486千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ148,665千円増加し、1,631,897千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,789,548千円増加し、8,268,384千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ194,220千円増加し、3,212,627千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2020年5月11日に公表しました通期の連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、2021年2月8日公表の「2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,385,681	2,493,665
受取手形及び売掛金	※1 4,407,879	※1 4,958,011
商品及び製品	1,791,801	1,700,177
未着商品	465,426	577,204
原材料及び貯蔵品	33,985	26,008
未収入金	72,578	137,192
その他	47,439	76,109
貸倒引当金	△4,800	△5,200
流動資産合計	8,199,992	9,963,169
固定資産		
有形固定資産	430,573	420,714
無形固定資産	6,647	4,616
投資その他の資産	860,028	1,092,511
固定資産合計	1,297,249	1,517,842
資産合計	9,497,242	11,481,011
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,717,006	5,385,135
1年内返済予定の長期借入金	815,988	834,070
未払金	154,530	216,802
未払法人税等	162,492	58,624
賞与引当金	42,407	23,400
その他	103,178	118,454
流動負債合計	4,995,604	6,636,486
固定負債		
長期借入金	1,419,897	1,536,847
資産除去債務	1,695	1,716
その他	61,639	93,333
固定負債合計	1,483,231	1,631,897
負債合計	6,478,835	8,268,384
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	2,073,348	2,235,975
自己株式	△259	△259
株主資本合計	2,728,951	2,891,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209,679	250,474
繰延ヘッジ損益	1,568	△1,257
為替換算調整勘定	25,459	13,568
その他の包括利益累計額合計	236,708	262,786
非支配株主持分	52,747	58,262
純資産合計	3,018,406	3,212,627
負債純資産合計	9,497,242	11,481,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	25,989,835	22,859,976
売上原価	23,560,621	20,790,521
売上総利益	2,429,214	2,069,455
販売費及び一般管理費	1,775,574	1,624,421
営業利益	653,640	445,033
営業外収益		
受取配当金	6,500	6,711
為替差益	23,810	—
受取手数料	4,804	4,745
受取補償金	1,230	1,662
補助金収入	7,043	31,441
その他	2,022	2,350
営業外収益合計	45,412	46,911
営業外費用		
支払利息	6,417	6,740
為替差損	—	18,732
支払補償費	1,315	806
その他	97	195
営業外費用合計	7,830	26,475
経常利益	691,221	465,469
特別利益		
固定資産売却益	7,651	57
投資有価証券売却益	—	4,071
特別利益合計	7,651	4,129
税金等調整前四半期純利益	698,872	469,598
法人税、住民税及び事業税	235,450	169,338
法人税等調整額	△23,496	△12,491
法人税等合計	211,953	156,847
四半期純利益	486,919	312,751
非支配株主に帰属する四半期純利益	452	8,387
親会社株主に帰属する四半期純利益	486,466	304,363

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	486,919	312,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,585	40,795
繰延ヘッジ損益	1,302	△2,825
為替換算調整勘定	△8,099	△14,763
その他の包括利益合計	△22,382	23,205
四半期包括利益	464,536	335,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464,788	330,441
非支配株主に係る四半期包括利益	△252	5,515



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,815,167	174,667	25,989,835	—	25,989,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154,042	378,733	532,775	△532,775	—
計	25,969,210	553,400	26,522,611	△532,775	25,989,835
セグメント利益	643,518	8,007	651,525	2,114	653,640

(注) 1. セグメント利益の調整額2,114千円は、セグメント間取引消去2,114千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,735,649	124,327	22,859,976	—	22,859,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	122,101	245,090	367,192	△367,192	—
計	22,857,751	369,417	23,227,169	△367,192	22,859,976
セグメント利益又は 損失(△)	509,724	△65,026	444,698	335	445,033

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額335千円は、セグメント間取引消去335千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていたコンビニエンスストア小売業について、経営上の管理区分の見直しを行ったことにより、「卸売事業」に含めて表示する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。